

# 大学と連携した地域課題解決

市長短信  
令和元年7月25日

## 1 まちづくりに大学等の知的・人的資源を活用

### 本市と協定を締結している大学等

#### ➤九州大学（平成22年5月29日締結）

協定内容：相互の資源を活用して産業の高度化や新産業の創出、地域課題の解決、教育研究活動及び診療活動の進展など、地域社会の振興に寄与することを目的とする。

#### ➤中村学園大学・中村学園大学短期大学部（平成29年5月23日締結）

協定内容：文化・教育・健康増進・流通科学・学術等の分野で協力し、地域ならびに大学の相互発展に寄与することを目的とする。

#### ➤西南学院大学（平成30年5月31日締結）

協定内容：地域の国際化、児童等の教育・保育、語学等の専門分野、産業振興、地域づくり、人材育成、生涯学習、学術研究等において協力し、地域社会及び大学の相互発展を図る。

#### ➤相模女子大学・相模女子大学短期大学部（平成28年7月15日締結）

協定内容：地域での生活や就業体験と、学生の調査研究への参画の機会を結び付け、これからの女性の多様なはたらき方や学生自らの人生形成（生き方）の可能性を広げる場を創出することを目的とする。

#### ➤福岡医療専門学校（平成30年5月22日締結）

協定内容：同校が有する専門的な知見や活力と、本市の豊かな自然環境、食、文化等の地域資源を結び付け、健康増進、介護予防、住民福祉の向上、子育て・教育、人材育成、学術研究などの分野で連携し、相互発展を図る。



↑西南学院大学との協定締結



↑九州大学学生による「伊都塾」



↑相模女子大「糸島プロジェクト」参加者

それぞれの大学等が持つ知的・人的資源を活用して、本市の課題解決・魅力向上など、地域の活性化につなげる。

## 糸島市協定大学等課題解決型研究事業

## ➤ 「糸島市協定大学等課題解決型研究事業」を活用した課題解決

協定を締結している大学等の研究者に、地域課題の解決につながる研究を委託する事業

[ 事業のフロー ] 市民や関係機関、市各部署から対象となる研究テーマを募集

研究テーマを選定委員会で決定

市と大学で委託契約を締結。所管部署と連携して、対象となる課題の解決に向けて研究を進める。

## ➤今年度は、4件の採用が決定

No	研究テーマ	大学名等	研究概要
1	JR一貴山駅周辺における快適な環境の形成に関する研究	九州大学 本部キャンパス計画室大学院人間環境学府 (坂井 猛 教授)	JR一貴山駅周辺の住民・企業・学生などが協働して、地域から愛されるトイレのデザインや設計を行う。
2	観光客の周遊性向上のための2次交通課題の解消	中村学園大学 流通科学部 (浅岡 由美 教授)	食を中心に、市内観光地の周遊性向上を図るための交通課題を解消する。 また、昨年度実施した「グリーンツーリズムの総合開発」を更に発展させる。
3	糸島市公共施設総合管理計画及び第1期アクションプランの取組に対する理解促進と「志摩初地域施設再配置事業」を契機とした地域活性化策について	九州大学 大学院人間環境学研究院 都市・建築学部門 (黒瀬 武史 准教授)	志摩初地域に焦点をあて、住民を巻き込んだ意見交換等を通して初全体の将来像やまちづくりの位置づけ、公共施設の在り方を検討する。
4	糸島市における障がい者の文化活動促進と女性の多様なはたらき方研究 障がい者×女性×学生によるアートインレジデンスを活用したアール・ブリュットの社会影響調査	相模女子大学 学芸学部英語文化コミュニケーション学科 (九里 徳泰 教授)	女性・学生・障がい者によるアートインレジデンス(滞在型芸術活動)と、それを通じた地域や社会の見方や考え方の変化を分析する。

## スタートした取組

### ➤研究テーマ2：観光客の周遊性向上に向けて

#### （現状・課題）

- ・本市を訪れる観光客が増えているが、一方で、主要な観光スポットや店舗への移動手段となる「二次交通」が少ない。
- ・特に既存バス路線は、住民の生活路線として整備されているため、人気が高い海岸部での土日祝日の便数が少ない。

#### （研究内容）

- ・観光客の目的地や時間帯、移動手段などについてのマーケティング調査を実施。観光客の移動ニーズを把握する。
- ・バス路線について、地域住民の移動手段を堅持しながら、観光客にとって最適なダイヤを検証する。
- ・観光利用に特化した移動手段については、新交通の導入等、観光客にとって最適な移動手段を求める。

#### （研究者）

- ・中村学園大学：流通科学部 教授 浅岡由美 [全体総括]

#### （研究の手法）

事前調査：JR、タクシー、バス、レンタサイクルの利用情報を集約

実地調査：調査対象観光地を8～12箇所選定（季節で分けて実施予定）

学生によるアンケート調査

先進的事例の予備調査（視察）

提案：研究結果に基づき、筑前前原駅から市内観光地への二次交通課題解消に向けた方策を提案



- ・観光入込み客数が伸び続けている中、二次交通の充実は、本市にとって重要な課題となっている。
- ・本市を訪れていただくことは、地域経済の充実や定住、シティセールスにつながる重要な要素であり、期待して訪れた観光客を失望させることは、多くの損失を生むことになる。
- ・この研究は、本市の課題解決と魅力向上に大きく寄与するものであり、大きな期待を寄せている。

